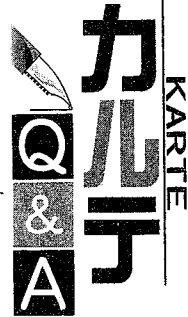


主に加齢によって発症する前立腺肥大症。遺伝的要因のほかに、食生活や肥満との関係性も指摘されています。症状や治療法などについて専門医に聞きました。

## 前立腺肥大症



酒井伊織医師

前立腺肥大症は、加齢などに伴って前立腺が大きくなり、尿道や膀胱が圧迫される男性特有の疾患です。初期には尿の勢いの低下や尿のキレ

ら開始することが一般的です。アルファ1遮断薬、PD E5阻害薬、5アルファ還元酵素阻害薬などの中から効果の異なる薬剤をうまく組み合わせることで、症状改善が期待できます。しかし薬では完治しないため、生涯にわたり薬を飲み続ける必要があります。また薬を飲んでいて

(TURP)②レーザー前立腺蒸散術(PVP)やCVP)③レーザー前立腺核出術(HOLEP)④経尿道的水蒸気治療⑤経尿道的前立腺上切術など保険適用のあるいくつかの方法があります。いずれの手術も腹部を切開する必要がなく、体の負担が少ない経尿道的内視鏡手術で

慮して適切な手術法を提案することができそうです。泌尿器科専門医とよく相談して納得のいく方法を選択していただきたいと思います。(兵庫県泌尿器科医会、酒井伊織(明石市、王子クリニック副院長) ◆第1、3、4日曜に掲載

## 薬で改善しなければ手術検討

が悪くなるといった排尿症状で気づくことが多く、やがて頻尿や切迫感などの蓄尿症状が出現することがあります。60歳以上の男性の7人に1人が、治療を必要とする前立腺肥大症を患っていると言われています。

も加齢とともに前立腺が大きくなったり、膀胱の機能が低下したりすることで、症状が悪化することがあります。薬で改善しなかったり、薬を飲み続けたくなかったりする場合は、手術療法を選択できます。手術には①電気メスによる経尿道的前立腺切除術

す。手術には複数の選択肢がありますが、それが最も優れた方法というわけではなく、それぞれに特徴があり、患者さんの状態に合わせて選択することが可能です。前立腺の大きさ、膀胱の状態、症状の程度、年齢、全身状態、抗血小板薬の内服の有無などを考

療として、薬の治療か